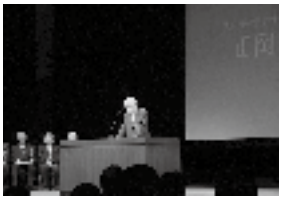
GIFT いのちのぬくもり

特定非営利活動法人骨髄バンクサポート新潟　ニュースレター　Vol.6（2010 年 10 月発行）

骨髄バンク推進全国大会2010 in 新潟 大盛況！



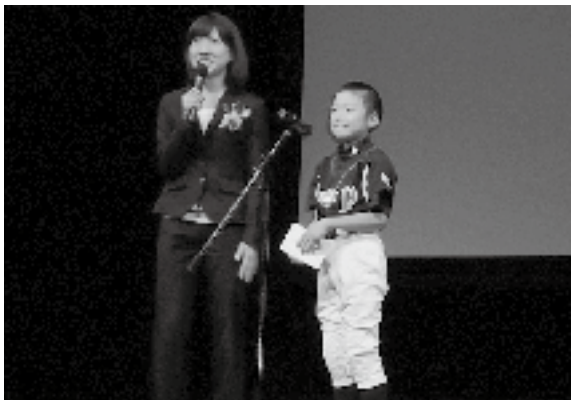
９月12日（日）午後１時より、新潟市民プラザ（NEXT21ビル６階）にて『骨髄バンク推進全国大会2010 in 新潟　～命をつなぐチームプレー～』が盛大に開催されました。この大会は、毎年10月の骨髄バンク推進月間に向けて、国民への普及啓発と協力を呼びかける事を目的に毎年開催されていますが、今年は地元新潟での初開催となりました。

４月より財団職員、地元ボランティア４団体、新潟県、新潟市によって構成された実行委員会が準備を重ね、大会当日を迎える事が出来ました。この日は中越地方を中心に大雨警報発令の悪天気の中、約400人もの方々にご出席頂きました。

第一部の式典では、主催者、来賓挨拶の他、財団より事業報告の後、地元新潟の23団体に感謝状が贈呈され、その活動が紹介されました。その後、斉木翔太（小学５年）の骨髄移植中のVTR上映と患者メッセージが読み上げられると、会場は感動に包まれました。

第二部では、新潟ジュニア合唱団による合唱と、アスリートトークショーとしてアルビレックス新潟の内田潤選手、プロスノーボーダーの荒井'daze'善正さん（骨髄移植体験者）、ユニバーシアード神戸大会マラソン優勝者の深尾真美さん（ドナー体験者）、県立がんセンター新潟病院内科医長の廣瀬貴之先生をゲストに私がコーディネーターを務め、それぞれの立場から骨髄バンクについて意見を頂き、協力が得られるようトークショーを行いました。中でも初めて骨髄バンクについて体験談を聞いたアルビレックス新潟の内田選手は『治療の大変さを感じました。これを機にチームに持ち帰って、自分たちに何が出来るか考えてみたい。』と語って下さったのが、とても印象的でした。選手のサイングッズが当たる○×クイズや、特別ゲスト米大リーグ・オリオールズの上原浩治さんからのビデオメッセージ上映の後、最後に全員参加による『翼をください』の合唱で、大会の幕が下りました。

１週間前から１階のアトリウムで『骨髄バンク展示会』も開催され、ダイドードリンコ㈱様や㈱伊藤園様よりフリードリンクのご提供を頂くなど、実行委員会を中心に多くのボランティアのご協力によって、大会を成功させる事が出来、感謝の念に堪えません。これを機に骨髄バンクへの県民の意識が更に高まり、待機患者さんが一日でも早く移植を受けられるよう、心より願っております。



骨髄バンク推進全国大会　実行委員長
ＮＰＯ法人骨髄バンクサポート新潟　理事長
斉木桂子

感謝状贈呈先

情報労連新潟県協議会様

情報労連新潟県協議会様は、骨髄バンク支援のためのボランティア活動に活かしてほしいとの思いから、NTT労働組合を中心に情報労連関係の組合の方々へ、一人２００円の任意カンパを呼びかけ、数千人の皆様から集まったご厚意をボランティア団体に寄付して下さっています。この活動は２０年以上続けられ、骨髄バンクボランティア団体の支援と普及啓発に、大きく貢献して下さいました。

株式会社　北越銀行　北銀まごころの会様

株式会社　北越銀行　北銀まごころの会様は、社会貢献活動の一環として、社員による給与天引き自主参加型募金と北越銀行からの協力により集まったご厚意を、平成5年より福祉、医療、環境、災害、交通安全等に役立てられるようにと寄付や助成を続けて来られ、骨髄バンクボランティア支援と普及啓発に、大きく貢献して下さいました。

ＢＳＮ愛の募金様

ＢＳＮ愛の募金様は、新潟放送が「励ましを必要とする人たちに愛の手を！」を合言葉に昭和57年に設立され、ラジオ、テレビ、イベントを通じて寄せられたご厚意を、毎年、新潟県交通遺児基金をはじめ、福祉施設、団体へ贈る活動を続けて来られ、その総額は昨年までに11億円以上に上りました。骨髄バンクボランティア団体にも長年に渡り寄付を続けて下さり、骨髄バンクボランティア支援と普及啓発に大きく貢献して下さいました。

ダイドードリンコ株式会社様

ダイドードリンコ株式会社様は、骨髄バンクのボランティア団体へ寄付される自動販売機の設置にご尽力され、ボランティア団体の支援と普及啓発に大きく貢献して下さいました。この自動販売機は、担当者の知人が骨髄移植によって白血病を克服した事に感銘し、骨髄バンクボランティア団体の活動支援と、ご愛飲下さった患者さんへの支援を目的に、平成17年より県内各地に設置されるようになりました。

株式会社エム・アイ・ディ　ジャパン様

株式会社エム・アイ・ディ　ジャパン様は、平成16年より「幸せのカラーチップ運動」として、パチンコ玉三郎でご遊戯下さったお客様が、地元ボランティア団体へ設置された寄付用ボックスを通し支援出来るシステムを作り、社会貢献活動の一環として、お客様からのご厚意を寄付して下さり、骨髄バンクのボランティア支援と普及啓発に大きく貢献されました。

イオンリテール株式会社ジャスコ上越店様

イオンリテールジャスコ上越店様は、「幸せの黄色いレシートキャンペーン」を通じて、社会貢献活動の一環として、地元ボランティア団体の支援に大きく貢献されました。このキャンペーンによって頂戴したバンダナやタオルハンカチは、当法人を通じて県立がんセンター新潟病院、長岡赤十字病院、県立中央病院にて闘病中の患者さんに届けられ、多く患者さんを励ます事が出来ました。また、毎年開催されてきた集団ドナー登録会では、当日ボランティアに参加する何十人もの子どもたちを温かく受け入れ、ドナー登録会成功のために多大なご協力を下さいました。

協同組合上越ショッピングセンター様

協同組合上越ショッピングセンター（アコーレ）様は、長年に渡り休日ドナー登録会の会場を無償でご提供下さいました。また、何十人もの当日ボランティアを温かく受け入れ、登録を呼びかけるアナウンスや大型スクリーンの利用など積極的に骨髄バンクの普及啓発にご協力を下さり、ドナー登録会の成功に大きく貢献されました。この会場での登録会は市民に定着し、100人以上の登録者数を何度も記録する程でした。

上越市立高志小学校様

上越市立高志小学校様は、平成18年、骨髄移植が受けられずに亡くなった小学5年生の友だちの死をきっかけに、命の尊さ、骨髄バンクの大切さを強く感じられ、ドナー登録会に於いて同校の生徒、保護者、教諭らが、毎回50人以上も有志ボランティアとしてご参加下さいました。子どもたちが中心となってドナー登録を呼びかけ、毎回多くの方にご登録を頂き、ドナー登録会の成功と骨髄バンクの普及啓発に大きく貢献されました。その協力は毎年続き、のべ300人近くに上っています。

新潟県立新井高等学校

新潟県立新井高等学校様は、当法人からの要請に快く応じ、ドナー登録会において社会科クラブの生徒さんを中心に、大勢の生徒さんが当日ボランティアとして、一日中ご協力下さいました。小学生ボランティアの面倒をみながらドナー登録を積極的に呼びかけ、ドナー登録会の成功と骨髄バンクの普及啓発に大きく貢献されました。

上越高等学校インターアクトクラブ様

上越高等学校インターアクトクラブ様は、当法人からの要請に快く応じ、ドナー登録会においてインターアクトクラブの生徒さんが、当日ボランティアとしてご協力下さり、ドナー登録会の成功と骨髄バンクの普及啓発に大きく貢献されました。他校の生徒と協力し、小学生ボランティの面倒をみながらドナー登録を呼びかけ、一日中、活動して下さいました。

新潟県立高田高等学校様

新潟県立高田高等学校様は、毎年開催される同校の文化祭に於いて、実行委員会の生徒さんが主体となって模擬ドナー登録会を実施し、骨髄バンクの普及啓発に大きく貢献されました。また、当法人と協力して骨髄バンクPRコーナーを設け、様々な展示やクイズで積極的に来場者に協力を呼びかけて下さいました。

JAPANサッカーカレッジ様

JAPANサッカーカレッジ様は、地元でのボランティア活動に活かしてほしいとの思いから、イベントでの収益を全額、継続して寄付して下り、骨髄バンクボランティア活動支援と骨髄バンクの及啓発に大きく貢献して下さいました。

ドナーとなった深尾さんの「骨髄を提供できるチャンス」に喜びを感じたという言葉が印象的だった。移植を受ける人も苦しい闘病に耐えてチャンスに挑戦する。感動と勇気をもらった骨髄バンク推進全国大会であった。

（参加ボランティア：本間道雄）

今年の春にドナーとして骨髄提供を経験しました。改めて命の大切さや健康の有難さを真剣に考える事が出来ました。全国大会の中で患者さんの95%にドナー候補者が見つかっても実際の移植率は６割程度と聞き、患者さんの生きる希望を絶やさない為にも一人でも多くのドナー登録者が必要だと痛感しました。これからも「命をつなぐチームプレー」でがんばりましょう。スタッフの皆さん大変お疲れ様でした。素晴らしい大会でしたね。

（参加ボランティア：博田　哲）

9月10日（金）ハードオフエコスタジアム・ドナー登録会

骨髄バンク推進全国大会に先だち、9月10日（金）14：00 ～ 16：30プロ野球巨人対広島戦が行われたハードオフエコスタジアム新潟球場正面広場にて、ドナー登録会が開催されました。東京ドームでは、骨髄バンク支援を続けている読売巨人軍のご協力のもと、毎年ドナー登録会が実施されていますが、新潟でこのような登録会は初めて。ステージG－kingに登壇してPRしたり、観戦前で賑わう野球ファンにドナー登録への協力を呼びかけました。おかげさまで、短時間にも関わらず、7名の方にご登録頂きました。

9月10日新潟のエコスタジアムは巨人―広島戦が行われ、2万7千人の観客がG小笠原の延長サヨナラ弾で熱狂しました。この戦い前の2時～ 4時半、Gテント群の一隅でドナー登録会を開催しました。18時開催にもかかわらずファンは暑い日中どんどんつめかけてきました。しかし、その目はG軍一点にしぼられ、なかなか骨髄バンクまでは及びませんでした。登録者は7名に終わりましたが、G軍熱風をあびて私たちも興奮した1日でした。

（参加ボランティア：上石喜代子）

この巨人戦はナイターなのに登録会の為に来てくださる方はいるのだろうか……。野球オンチの私は会場に着くまでそう思っていました。“お祭り”なんですね。Gステージでは抽選があったり、屋台もいろいろと並び若い人もいっぱい。しかし多くの登録を願って声かけをしたけど､チラシを受けとってもらえない事が度々｡ここに来る目的が違うからか｡でも､ゼロじゃなかった!登録者に感謝!ボランティアに拍手！（かき氷を手にしたまま登録に来てくださった方、溶けないうちに食べられたかな?)

（参加ボランティア：岩澤代志子)

ホームページ開設のお知らせ!!

4月の理事会にて「ホームページ担当」になりました。初めはもっと簡単に考えていました。と言うのも、市販されているソフトで個人で作成している人もいるし、それなりに作れるだろうって…。

しかし！私たちのように法人となってはそう簡単にはいきません。見てくれる方がわかりやすく興味を持ってもらえるもの。日々悩んでいました。その悩みを一緒になって解決してくれたのがMステーション松田様でした。素人の私にわかりやすく親切に指導してくれ、またいろいろな面で協力していただきました。

その甲斐あって約4か月で完成。ヒット数も日々増えています。

これからも皆様に「骨髄バンクサポート新潟」､「骨髄バンク」を知っていただく為に頑張っていきます。よろしくお願いいたします。

（担当者：石月智幸）

http://kbsniigata.com

この度、縁あって骨髄バンクサポート新潟様のサイト制作をお手伝いさせて頂きました。制作にあたり、様々な骨髄バンク関係のサイトを閲覧し必要な情報を収集する度に、ボランティア様の善意に感動し、ドナー様の勇気と行動力に感銘致しました。そんな中で私に何か出来る事は…？契約当初４～５ページの小さなサイトを本格的なサイトにする事。それが私に出来る事でした。このサイトから多くの命が救えますように熱望しております。

（ホームページ制作　新潟Mステーション：松田　浩）

ぜひアクセスして下さい!!

◆活動報告

チャリティーゴルフコンペ

8月28日(土)妙高サンシャインゴルフクラブにて､本年度初めてチャリティーゴルフコンペを企画させて頂きました。当初確保していた組数に何とか届き35名（38名から当日欠席3名）の大勢の参加を頂きました。ゴルフの上手い下手は二の次として、楽しいゴルフをしながらいつの間にか、後方支援が出来てしまうというコンセプトで、初心者大歓迎と募集しましたが、半数の方が100を切るレベルの高いものでした。閉会式前では最終組を待つ間に時間が空きすぎたり、何かと行き届かない点も多くご迷惑をお掛けしましたが、参加者アンケートには「来年も参加しても良い」と答えて下さった方がほとんどで、大変有り難く思っております。ありがとうございました。

（担当：齋木秀雄）

今回は“NPO法人骨髄バンクサポート新潟”主催の記念すべき第1回目のチャリティゴルフコンペに参加させていただきありがとうございました。コンペ前日は子供が遠足にいく前日のようにワクワクしてなかなか寝付けず、また当日は妙に早く目が覚めてスタートの1時間半前にはゴルフ場に到着してしまいました。その甲斐あってか隠しホールが見事にはまり、優勝させていただくことが出来ました。暑さに負けないくらい熱くプレーして、お昼のビールも美味しくいただき大変楽しい時間を過ごさせていただきました。今後も骨髄バンクサポート事業に協力させていただければと思っています。参加させていただき大変ありがとうございました。

（優勝者：山之内　謙）

記念すべき第1回に参加させていただきありがとうございました。天候にも恵まれたのは、皆様の日頃の活動や熱い思いが届いたからだと思います。33万人ものドナー登録者がいるにもかかわらず、提供者が見つからず消えていく命が現実にあるということは、まだまだ足りないのだと実感しています。義や愛の精神がもっと世界に広がることを祈願致します。

（参加者：武藤大希）

献血並行ドナー登録会

8月6日（金）陸上自衛隊高田駐屯地での献血並行ドナー登録会に向けて、事前説明会を7月30日～8月5日までの1週間、毎日昼休みに実施したり、朝礼に参加して登録への協力を訴えるなど自衛隊のご協力を頂き、当日は29名もの方々にご登録頂きました。このように献血開催協力事業者と協働して1週間前から説明や質問のできる環境を整え、献血並行ドナー登録会を実施したのは初めてで、主催者である新潟県の担当者からもご称賛頂き、今後も出来るだけ企業や団体と協力し、取り組んでいきたいと感じました。ご協力ありがとうございました。

今年度実施済み献血並行ドナー登録会・登録者数

◆4/23 佐渡島開発総合センター ６名 ◆4/30 胎内市役所 ５名 ◆5/27 有沢製作所(中田原工場) １３名 ◆5/28 阿賀町役場上川支所 ２名 鹿瀬支所 ４名 ◆6/1 糸魚川市役所 ２１名 ◆6/4 朝日酒造㈱ ４名 ◆6/11 瑞穂医科工業 ５名 ◆6/17 敬和学園大学 ５名 ◆6/18 ＪＡ十日町本店 ３名 ◆6/21 小千谷市役所 ４名 ◆6/24 ㈱伊藤組(新発田市) ２名 ◆6/27 五泉市福祉会館 ２名 ◆6/30 佐渡保健所 １名 ◆7/1 佐渡金井コミュニティーセンター ２８名 ◆7/9 原信五泉店 ０名 ◆7/14 湯沢町役場 ２名 ◆7/14 魚沼テクノスクール １名 ◆7/23 十日町地域振興局 ４名 ◆7/28 (社)新潟県建設業協会村上支部 ９名 ◆7/30 電気化学工業青海工場 ２４名 ◆8/5 陸上自衛隊高田駐屯地 ２９名 ◆8/6 南魚沼市役所本庁舎 ３名 ◆9/1 三条市厚生福祉会館 ５名 ◆9/6 上越テクノスクール ２６名 ◆9/14 加茂市建設業(協) １０名 ◆9/15 糸魚川建設業会館 ２１名

語り部講演会

8月28日（土）19:00 ～ 20:30まで、上越市藤巻・木田新田青少年育成協議会の主催により、骨髄バンク語り部講演会が開かれ、理事長の斉木桂子が講演しました。夜の時間にも関わらず、親子、地域住民、小中学校の先生方が集まり『骨髄バンクを通して命について考える』の講演を熱心に聞き入って下さいました。

バンダナ贈呈

ジャスコ上越店による『幸せの黄色いハンカチキャンペーン』のご協力により頂いたハンカチ180枚を、今回も長岡赤十字病院、県立がんセンター新潟病院、県立中央病院で入院闘病中の血液疾患の方にお届けし、患者さんを励ます事が出来ました。毎月11日に発行される黄色いレシートを、当法人のボックスへご投函下さいますよう宜しくお願いします。

長岡赤十字病院にて

県立中央病院にて

かっぱまつり

初めてのお祭り参加で戸惑いもありましたが、にぎやかで大勢の人たちが集まるところでの活動がとても楽しかったです。お祭りに来てくださった皆様と子供たちが骨髄バンクに募金をしてくれた時とてもうれしく、その善意に感謝の気持ちでいっぱいです。こんな風な活動を通して骨髄バンクのこと、骨髄移植のことをもっと皆様に知っていただき、骨髄バンクサポート新潟の輪を広げられるように頑張っていきたいと思います。また色々な活動に参加していきたいです。最後に、スタッフのみなさん、お疲れ様でした。そしてありがとうございました。

（参加ボランティア：ＳＫ）

くびきの祭典

8月8日、9日ユートピアくびき希望館で行われる「くびきの祭典」に、参加してきました。主に子どもの目を引くような出店でしたが、途中に雨がふるなど少し蒸し暑い天気でした。出店の方は昼すぎ頃から地域の子ども達も来てくれました。新しいボランティアの方に骨髄バンクの説明をすることも出来ました。こういった活動に参加することで、地域の方々とのふれあいの機会を持つことができ、子どもから年配の方まで、家族ぐるみで骨髄バンクという名前と活動を知ってもらう良いきっかけになると思います。今後も地域の活動に参加し、来ていただいたお客さんに楽しんでもらい、私たちの活動に少しでも興味を持っていただけたら幸いだと思っています。

（参加ボランティア：原くるみ）

高田高校文化祭

昨年度に続き、2回目の参加になりました。今年は、昨年同様模擬ドナー登録会を学生さん達にも手伝ってもらい行い、また昨年の反省を元に展示物だけではなく、骨髄バンクに関する簡単なクイズに参加してもらう企画にしました。参加者にはお菓子を景品にしたり、バルーンアートの方にお願いし飾ってもらったりと少しでも学祭の雰囲気のなかで理解してもらいたいと思いました。2年目ということもあってどちらの企画も盛況で、有意義な二日間でした。実行委員長さんには是非来年も来て下さいと嬉しいお言葉をかけてもらうことが出来、頑張る力を頂きました。ありがとうございました。

（参加ボランティア：小林昌美）

◆献血並行ドナー登録会スケジュール

◎一般の方の登録可能　・企業関係者のみ

◎10/28　木　13:15～15:30　南魚沼市しおざわ農協
◎11/10　水　13:30～15:30　津南町役場
◎11/12　金　09:30～11:45　JA柏崎本店
◎11/23　火　09:30～15:00　田上町総合福祉センター
・12/7　火　12:45～16:00　関川村保健センター
・12/13　月　10:00～12:00　13:00～15:30　長岡TDKラムダ㈱長岡テクニカルセンター
◎1/31　月　13:30～15:30　柏崎地域振興局
◎2/18　金　10:00～12:00　魚沼市小出公民館
・2/18　金　14:00～15:30　村上市消防本部

◆集団ドナー登録会スケジュール

10/8（金）13:00～16:30　リージョンプラザ上越（えちご・くびきの100キロマラソン受付会場）
10/11（月・祝）　9:00～15:15　聖籠町公民館（2010せいろう町スポレク祭りにて）

ありがとうございました

（H22.5月22日～9月14日まで）

【寄付】
○高澤大介様　○内海治朗様　○秋山一男様　○長谷川武様・恵美子様　○㈱エム・アイ・ディジャパン様

【賛助会員】
○笠原真理様　○木澤百合子様　○池原絹子様　○外ノ池節様　○小林澄江様　○小林洋子様　○上野初美様（２回）　○茂野真知様
○山田英雄様　○高原亮子様　○横田広美様　○金子小百合様　○永井千衣様　○船津友吉様　○中澤瑞城様　○鈴木宗高様
○齋木賢秀様　○岩本歩子様　○川村留美子様　○一越みや子様　○山本善政様　○山本泰様　○井澤敏子様　○飯塚美弥様
○川上春子様　○今井信行様　○松澤政子様　○丸田トヨ子様　○田中登志夫様　○長谷川守様　○内海治朗様　○山本孝子様
○岩﨑由香子様　○太田冷子様　○新部恵子様　○伊東フミ子様　○大島誠様　○梅山香織様　○西山和代様　○樋熊みちよ様
○松浦洋子様　○歌川正様　○小池和子様　○秋山一男様　○小林林一様　○山田謙一様　○畠山悟様　○安藤早苗様
○石田愛理様　○磯部美恵子様　○中村由美子様　○塚田俊幸様　○小椋明美様　○社会福祉法人新潟市社会事業協会　信楽園病院様
○㈱斉藤商事様　○㈲白砂精工様　○㈲長谷川不動産センター様　○折笠歯科医院様

◆骨髄バンク推進全国大会事業報告より

これまでの実績

ドナー登録者現在数 364,616
ドナー登録者累計数 470,954
患者登録者現在数 2,718（うち国内 1,316）
患者登録者累計数 30,776
→ HLA検索 →
HLA 適合ドナー数 225,934
HLA 適合患者数 25,019*
→ コーディネートⅠ →
確認検査ドナー数 63,320
→ コーディネートⅡ →
最終同意・移植日程調整 13,340 組
→ コーディネートⅢ →
移植実施数 11,997 例 **
骨髄採取数 12,001 例 **

＊国内の患者さんの HLA 適合率は 95%です。
＊＊骨髄を採取したドナーは、累計登録者（470,954 人）の 2.4%で、採取したものの提供に至らなかった例が 4 例あります。

今後の課題

1．ひとりでも多くの方にドナー登録を

患者さんの約95%に一人以上のドナー候補が見つかっていますが、骨髄移植をうけられる『移植率』は約6割です。安定的に骨髄液を患者さんへ提供するためには、一人でも多くのドナー登録者が必要です。また、登録後も提供意思を維持してもらう啓発が必要です。

2．コーディネート期間の短縮

●非血縁者間同種末梢血幹細胞移植の機会が拡大されます。
※造血幹細胞を成分献血と同様の方法で採取し、患者さんに輸注する方法
・患者さんに造血幹細胞移植の機会が拡大されます。

＜導入のメリット＞
・ドナーの自己血採血、全身麻酔、骨髄穿刺が必要ない
・提供に伴うドナーの肉体的、時間的負担が軽減できる
・患者においては移植後の血液回復が速やか

日本骨髄バンクの現状（平成２２年８月末現在）

	７月	８月	現在数	累計数
ドナー登録者	3,014	3,297	366,824	474,253
内新潟県	84	66	9,808	−
患者登録者	235	227	2,760	31,003
内新潟県			26	418
骨髄移植例	115	105	−	12,102
内新潟県居住者			−	238

骨髄バンクへのお問合わせ　0120-445-445

NPO法人 骨髄バンクサポート新潟 入会のご案内

正会員	賛助会員
個人一口　2,000 円より 団体一口　10,000 円より	個人一口　2,000 円より 団体一口　10,000 円より
ボランティア活動を一緒にして下さる方 総会での議決権あり	資金援助をして下さる方 総会での議決権なし

振込先口座名　NPO法人骨髄バンクサポート新潟
郵便振替口座　００５００－５－９７１４２

特定非営利活動法人　骨髄バンクサポート新潟
〒943-0805　上越市木田2-3-11-5　電話　025-546-7337　FAX　025-546-7338　Mail　kbsniigata@gmail.com